



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2021年5月30日 No.321

東京新幹線運輸区の 設備改善を申し入れる！

2021年3月13日のダイヤ改正の実施とともに東京新幹線運輸区が発足し、同時に東京駅における新幹線乗務員の乗継詰所のあり方が大きく変更されました。

各方面の新幹線乗務員が利用することとなった東京新幹線運輸区の設備に関して、使用開始直後より「不備がある」との声が組合員から寄せられました。その声の中には業務および休憩時に必要な設備などの不備にとどまらず、コロナ禍における感染拡大予防に関する意見も数多く出されています。

東日本ユニオンは東京新幹線運輸区を利用する組合員を中心に広く意見を聴き、計12項目の設備改善要求として5月28日、幹申第4号「東京新幹線運輸区の設備改善に関する申し入れ」を新幹線統括本部に提出しました。

【主な要求項目】

<業務関係>

- ◎新幹線運転状況および駅在線を確認できるモニターを食事優先エリアにあるモニターで表示すること。
- ◎一斉放送が乗務員エリア全体で聞こえるようにすること。
- ◎乗務員・食事優先エリアから視認性のよい掛け時計を増設すること。

<休憩関係>

- ◎乗務員のカバンを置くことができるスペースを増設すること。
- ◎上着等をかけることのできる設備を増設すること。

<新型コロナウイルス感染予防関係>

- ◎洗面台に、うがい薬・コップを常備すること。
- ◎洗面台の蛇口を自動水栓に改善すること。
- ◎ダイヤが乱れたときや繁忙期における社員の密集を防ぐために東京駅ホーム下に乗務員専用の詰所を、20～21番線ホーム下、22～23番線ホーム下のそれぞれで再度、使用できるように整備すること。



<その他>

- ◎東京新幹線運輸区近隣にある社員食堂については土休日も営業とし、営業時間は7時から20時を基本とすること。

社員が安全に安心して利用できる職場環境をつくりだそう！